

平成 20 年 10 月 21 日

各 位

会社名 エムケー精工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山 永樹
 (JASDAQ・コード 5906)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役管理本部長 高橋 勇
 電 話 026-272-0601 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 5 月 14 日付けの「平成 20 年 3 月期決算短信」において発表いたしました平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 3 月 21 日～平成 21 年 3 月 20 日) 中間期および通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期中間期

(1) 連結 (平成 20 年 3 月 21 日～平成 20 年 9 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	10,000	100	50	50
今回修正予想 (B)	8,800	75	40	25
増減額 (B - A)	△1,200	△25	△10	△25
増減率	△12.0%	△25.0%	△20.0%	△50.0%
前中間期実績 (平成 20 年 3 月期中間期)	9,464	86	54	185

(2) 個別 (平成 20 年 3 月 21 日～平成 20 年 9 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	9,200	300	250	230
今回修正予想 (B)	8,300	180	230	230
増減額 (B - A)	△900	△120	△20	0
増減率	△9.8%	△40.0%	△8.0%	0
前中間期実績 (平成 20 年 3 月期中間期)	8,720	213	238	56

2. 平成 21 年 3 月期通期

(1) 連結 (平成 20 年 3 月 21 日～平成 21 年 3 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	21,000	500	400	300
今回修正予想 (B)	19,500	110	55	30
増減額 (B - A)	△1,500	△390	△345	△270
増減率	△7.1%	△78.0%	△86.3%	△90.0%
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	19,819	126	69	93

(2) 個別 (平成 20 年 3 月 21 日～平成 21 年 3 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	19,000	450	380	280
今回修正予想 (B)	17,700	250	200	150
増減額 (B - A)	△1,300	△200	△180	△130
増減率	△6.8%	△44.4%	△47.4%	△46.4%
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	17,915	315	319	66

3. 修正理由

(1) 中間業績予想の修正理由

当中間期は、米国サブプライム問題に端を発した世界的な経済環境悪化の影響もあり、当社グループにおきましては、期初より一段と厳しい経営環境下に置かれることとなりました。

売上高につきましては、ことに、オート機器事業におきまして、SS 業界の設備投資意欲の減退が主力製品であります門型洗車機の買い控えと繋がり、当初計画を大幅に下回る見込みとなりました。

また、一昨年買収しました当社グループの子会社が係る住設機器事業におきまして、同事業が受注からのリードタイムが長いなどの関係もありまして、当期の売上に最も影響のある昨年度の受注活動の時期において、民事再生法の適応による取引関係先からの敬遠行動による影響や改正建築基準法施行による受注減退の影響が重なり、売上が伸び悩む大きな要因となっております。

利益面につきましては、上記の売上高の減少による影響に加え、原油価格、鉄鉱石価格等の高止まりによる仕入原材料・部品の高騰などが収益圧迫の要因となり、減益となる見込みであります。

個別業績予想の修正につきましても、主に上記にご説明いたしました要因によるものであります。

(2) 通期業績予想の修正理由

通期におきましては、今後の経済状況は、米国発の金融危機が实体经济に波及し世界同時不況の様相が強まっており、株価の下落、円高の進行など不確定要因が顕在化する中、先行き不透明感が増しております。また、景気後退に伴う需要の減退や個人消費の低迷は、当社業績においても影響を受けることが想定されます。

こうした状況の中、当社グループといたしましては、生産合理化を始めとして、全部門において間接部門の生産性の向上および経費削減など、あらゆるコスト低減を図るとともに、メンテナンス事業の拡充に注力した販売力強化策、新商品の開発など、収益力向上に努めてまいり所存であります。しかしながら、中間期における乖離をカバーするまでには至らず、また、当社を取り巻く環境は総じて厳しい状況が続くものと予想されますことから、通期業績につきましても連結および個別業績予想を上記のとおり修正するものであります。

※上記の業績予想の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる場合があります。

以上